

2024 年度春学期 応用数学（解析） 第 14 回演習の解答例

集合 S の部分集合 T を考えると、 $T \subseteq S$ です。任意の集合 X について、 $T \cap X \subseteq S$ なので、本文の外測度の性質 2 から

$$m^*(T \cap X) \leq m^*(S) = 0 \quad (\text{A1})$$

で、外測度は 0 以上なので、 $m^*(T \cap X) = 0$ です。また、 $T^c \cap X \subset X$ なので、同様に

$$m^*(T^c \cap X) \leq m^*(X) \quad (\text{A2})$$

です。以上から、

$$m^*(X) \geq m^*(T \cap X) + m^*(T^c \cap X) = 0 + m^*(T^c \cap X) = m^*(T \cap X) + m^*(T^c \cap X) \quad (\text{A3})$$

となりますが、集合 X は集合 $T \cap X$ と集合 $T^c \cap X$ の和集合ですから、本文の「完全劣加法性」から $m^*(X) \leq m^*(T \cap X) + m^*(T^c \cap X)$ です。

よって、 $m^*(X) = m^*(T \cap X) + m^*(T^c \cap X)$ となり、本文の可測集合の定義 ((4) 式) から集合 T は可測集合です。集合 S の外測度 $m^*(S)$ は 0 ですから、集合 S とそのすべての部分集合の測度は 0 となります。